

登録コード	SD501200	開講年度	2026					
授業題目	日本地質				担当教員	常盤 哲也		
英文授業名	Geology of Japan				副担当			
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	火曜・2時限		対象学年	3年生
講義室	理学部第7講義室			授業形態	講義	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー非該当								
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】			
	2 6 Sカリ, 2 5 Sカリ, 2 4 Sカリ, 2 3 Sカリ							
	【2023年度以降カリラム対象】理学の各分野における専門知識				地帯構造区分, 各地帯の特徴, 地帯構造の成立過程, 日本列島の成立についての基本的な知識を身に付けることができる.			
(2)授業で学べる「テーマ」	防災減災							
(3)全学横断特別教育プログラム	環境マインド実践人材養成コース							
(4)授業の概要	日本列島は, 大陸性の岩石が基盤をなす地帯, 付加作用によって形成された地帯, 変成岩が主体をなす地帯など, 様々な特徴を持った地帯からなる. この地帯の特徴と共に, 地帯構造の成立過程を学ぶと共に実際の地質を観察することで, 日本列島の成り立ちについての基本的な知識を身に付ける.							
(5)授業のキーワード	日本列島, 地質・地質構造, テクトニクス, プレートテクトニクス							
(6)授業計画	1. イントロダクション 2. 日本列島の地帯構造 2. 大陸起源の飛驒帯と飛驒外縁構造帯 3. ジュラ紀付加体と変成帯(美濃 - 丹波帯と領家変成帯) 4. ジュラ紀付加体と変成帯 2 5. 中央構造線 6. 西南日本外帯のジュラ紀付加体 7. 白亜紀 - 第三紀付加体(四万十帯) 8. 中国地方の地質帯 9. 東北地方の地質帯 10. 北海道の地質帯 11. ユーラシア東縁部のテクトニクスと地帯の再配列 12. 日本列島の形成とフォッサマグナ 13. 火山弧の衝突と新第三系 14. 海岸平野・内陸盆地と活断層, 糸魚川-静岡構造線 15. 総括, 授業アンケート 16. 期末試験							
(7)成績評価の方法	期末試験の結果により評価する.							
(8)成績評価の基準	日本列島の地質帯のアウトラインが理解できればC, 各地帯の内容を正しく理解できればB, 日本の地質の形成過程と周辺国の地質との関係まで理解できればAとする. 特に正確に知識を習得することができていればSとする.							
(9)事前事後学習の内容	授業の前後に地質図などを用いて内容の予習と復習をする必要がある.							
(10)履修上の注意	基本的な岩石の分類と主要な地質現象に関して一定の理解ができていることが前提となる.							
(11)質問,相談への対応	オフィスアワーは講義終了後. その他の授業時間以外にも, 対応可能な場合はいつでも研究室(理学部C棟410)において対応する.							
【教科書】	授業の際に配布する.							
【参考書】								